

ひがしくるめ 市議会だより

9月3日~9月21日
平成24年第3回定例会
9月26日・27日
平成24年第3回臨時会

平成24年度一般会計予算三度否決

市政始まって以来の12月までの暫定予算へ



秋晴れの空の下での運動会の練習(9月26日第三小学校)

平成24年第3回定例会は9月3日から21日までの会期で開催され、平成24年度一般会計予算など、市長提出議案13件、議員提出議案(意見書・決議案)16件、請願26件を審議しました。
平成24年第3回臨時会は9月26日と27日に開催、平成24年度一般会計暫定補正予算ほか1議案を審議しました。結果は4面をご覧ください。
第3回臨時会では、南沢五丁目商業施設建設計画に伴う地域貢献施設機能の一つであるシャトルバスの経路(※)に対する市長発言、定例会最終日に可決された辞職勧告決議を受けての市長の対応をめぐり、議論が集中し、一日限りであった会期を2日に延長しました。
臨時会2日目、さまざまな言動により議会運営に迷惑を掛けたとして、市長から陳謝の発言がありました。

24年度一般会計予算を否決

24年度一般会計予算案は、9月14日と18日の予算特別委員会にて審査され、21日の本会議最終日において賛成少数で否決されました。
【委員会での質疑から】
【質問】2年連続でその年の一般会計予算案を9月まで審査する異常事態である。市長は何が原因と考えるか。
【質問】東久留米市公共施設使用料のあり方検討委員会

訂正
平成24年8月1日発行の235号の内容に誤りがありました。1面「市長報告」の冒頭、誤6月2日↓正6月4日

市長 私この間の行いに對してご批判があり、私に押し付けていないことにより成立できていない状況があると認識している。
市長 報告書の内容は基本的に尊重する。成案をまとめるに当たり、利用団体等への情報提供、意見聴取のあり方を今後検討したい。
【質問】南沢五丁目商業施設建設計画に伴う地域貢献施設機能の一つとして事業者が設置を予定している認証保育所の施設整備費に関する協議の現状は。
市長 事業者が費用を負担し開設していただくよう、現在協議中である。
【質問】複数ある商工関係の補助金を統合するなどの見直しの考えは。
【質問】家庭ごみ有料化に関して、有料化導入基礎調査委託費が計上されているが、目的は。また、調査や市民意見交換会で出された意見をどのように反映するのか。
【質問】南沢五丁目商業施設建設計画に伴う地域貢献施設機能の一つであるシャトルバスについて、資料で運行ルート案が示されたが、今後のスケジュールは。

【臨時会での質疑から】
【本予算で計上されていた家庭ごみの有料化導入必要額を計上するため、歳入歳出予算額が同額とはならないものです。】
【質問】本予算で計上されていた家庭ごみの有料化導入必要額を計上するため、歳入歳出予算額が同額とはならないものです。】

【臨時会での質疑から】
【本予算で計上されていた家庭ごみの有料化導入必要額を計上するため、歳入歳出予算額が同額とはならないものです。】

東久留米市長馬場一彦君に対する辞職勧告決議を賛成多数で可決

(要旨)
平成24年度一般会計予算が三度否決された。その都度議会は市長に対する辞職勧告決議を可決してきた。公約ほごをはじめとした馬場市長の政治姿勢に対し、圧倒的な数の議員がさまざまな葛藤の末に「NO」を突き付けている。議員にとって予算否決の一票を投じるのは重い事である。それだけ大きな議会の決断である。
しかし、馬場市長は決議を受け、その都度「真摯に受け止める」と発言をするが、今日に至るまで真摯に受け止めた姿勢は見受けられない。今定例会においても政策のブレや言動の不一致で非難を浴びている。特に市立保育園の民営化次期対象園をめぐる、保護者の不安が紛糾する中にもかかわらず、総合的な判断をしたとの事で、政策決定のプロセスに関し具体的な説明や真意が明かされない事があった。そして厚生委員会にて全員賛成で採択された24請願第63号「保育行政に関する説明会」に関する請願を受けても、市民説明会は行わないとの姿勢を示した。
また、家庭ごみ収集有料化や公共施設使用料の見直し等についても馬場市長の独断が見られる。
市長就任時は、このような大差で予算が否決されるような議会構成ではなかったはずである。なぜ圧倒的な多数で予算が否決されるほど、議会との信頼関係が崩れてしまったのか。
公約違反や度重なる政策の変更や発言のブレは、馬場市長に内在する混乱や矛盾に起因する。それは、そのまま市政の混乱となっており、自ら掲げる「情報公開、市民参加、市民との対話による合意形成」も守られていない。現状では民意を得た市長の姿とは言えず、まさに馬場市長は民主主義の大切な基盤を無くした状態である。市民や議会との信頼関係を保つことは難しく、リーダーとしてはふさわしいとは思えない。
東久留米市は財政健全化を図り、持続可能な市政運営、市民福祉の向上を目指す大事な時期であり、市民や議会との信頼関係を保てず、市政の混乱を招いている馬場市長を認めるわけにはいかない。
よって、東久留米市議会は、東久留米市長馬場一彦君に対し、その職を辞することを求めるものである。

12月までの暫定補正予算を可決

第3回定例会において、24年度一般会計予算が否決されたことを受けて、9月26日と27日に第3回臨時会が開催され、市長より「平成24年度東久留米市一般会計暫定補正予算(第5号)」が提案されました。委員会への付託を省略し、本会議で審議した結果、賛成多数で可決されました。
市の24年度一般会計予算は4月から9月までの暫定予算となっていました。本案は、これに3カ月を補正し、12月までの暫定予算とするものです。補正後の歳入暫定予算の総額は、23億5522万円、歳出暫定予算の総額は30億8421万3千円となりますが、暫定予算は、その期間における必要額を計上するため、歳入歳出予算額が同額とはならないものです。
【臨時会での質疑から】
【本予算で計上されていた家庭ごみの有料化導入必要額を計上するため、歳入歳出予算額が同額とはならないものです。】

基礎調査委託費が暫定予算にはないが、家庭ごみ有料化に向けた実施計画案で示したスケジュール通りに実施できるのか。
市長 計画を確定するに当たって、検証をし直す必要がある。平成25年11月実施は非常に困難と考える。
【質問】新たに計上された保育給食用食材放射性物質検査の内容は。
【質問】市内認可保育所と認証保育所の食材に実施。東京都が検査を行うが、検体の購入や搬入に係る経費を市で負担するもの。
【質問】南沢五丁目商業施設建設計画に伴う地域貢献施設機能の一つであるシャトルバスについて、資料で運行ルート案が示されたが、今後のスケジュールは。バスルートは決定的なものなのか。市としてルート変更の協議は可能なのか。
【質問】バス事業者が12月中旬に認可申請を予定とのこと。現時点では市として事業者との協議は行っていない。
市長 商業施設事業者と地元バス事業者との協力により地元住民の足として利用できる路線バスとしての運行計画である。事業者の負担で行うものではないが、各議員から頂いたご意見、今後商工会等から頂くご意見を踏まえて、市として事業者に伝え、協議をし、可能な限り反映していただくよう努力する。
※東久留米循環ルート(東久留米駅西口と商業施設を経由、滝山団地ルート(久留米西団地と商業施設を結ぶ)2路線案が示された。

一般質問……………2・3面
市長の給料減額条例可決……………4面
議案・請願の審議結果、意見書など……………4面